



職場体験

9月25日（火）と26日（水）の2日間、太地中学校3年生の生徒が職場体験を行いました。漁協スーパーには藪内さんと畑中さんが勤めていました。一日目を終えて、「仕事を覚えてきて、楽しかった。」や「挨拶ができなかったから明日は頑張る。」と振り返っていました。道の駅には神谷くんと下路くんがマグロに衣付けをしていました。「やり甲斐のある仕事だ。」と楽しそうに語っていました。しっぽでは森田くんと山川くんが、いなほのパン屋では川端くんと脊古さんが働いていました。みんなそれぞれ接客について学び、そして「人の役に立ちたい。」という想いで一生懸命に働いていました。

【本記事は、役場に職場体験に来てくれた田崎皓聖（たさき こうせい）くん取材・執筆していただきました。】

目次

平成29年度 太地町の決算	2
平成29年度 主要施策の成果	4
トピックス	10
盆供養花火大会収支決算書	11
議会報告	12
マイナンバーのお知らせ	13
お知らせ	14
住民福祉課便り	16
くじらの博物館便り	18
保健衛生関係行事予定	20

平成29年度・太地町の決算

太地町の平成29年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）決算がこの程まとまり9月に開かれた定例議会で承認されました。一般・特別会計を合わせた決算額は、歳入が48億9,360万5千円、歳出45億9,354万9千円となりました。

限られた予算を有効に活用し、町民の皆様の生活向上につなげる努力は、今後も続けていきたいと思っております。

平成29年度の決算の概要をお知らせいたします。



フェロー諸島クラクスヴィーク町と
姉妹都市提携



太地こども園を新設

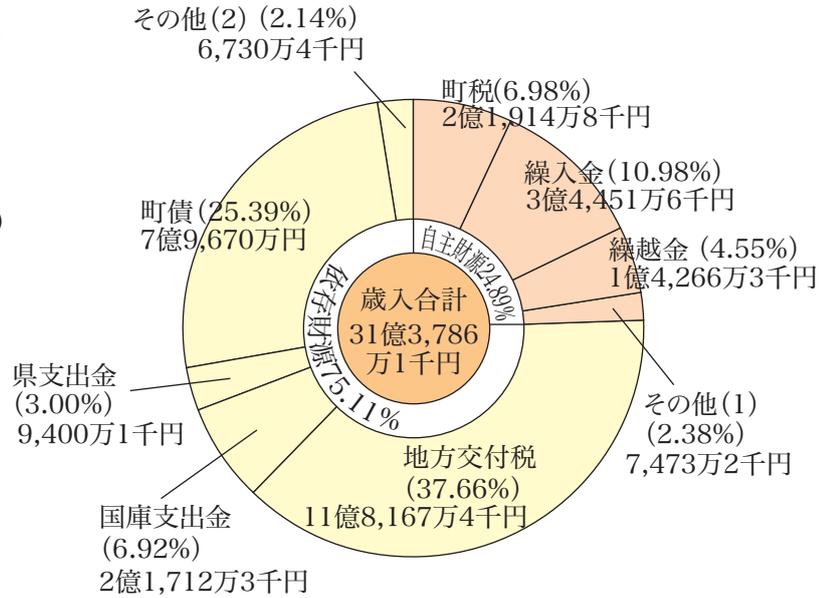
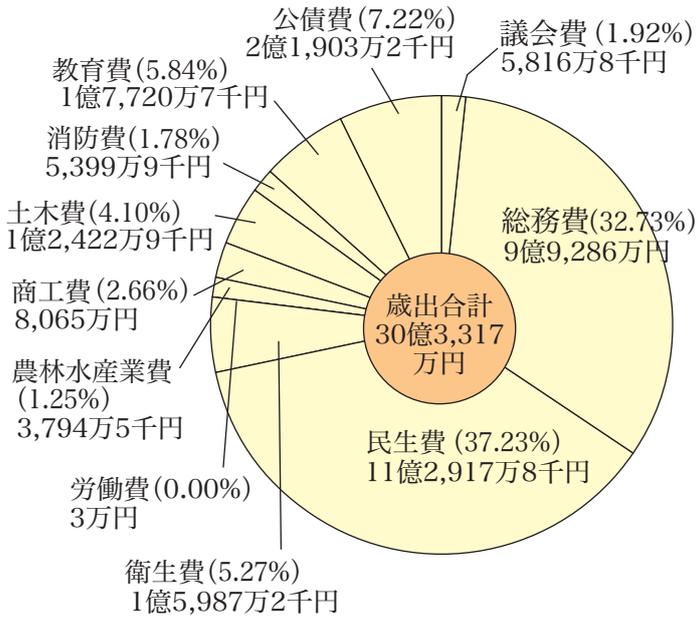
平成29年度 会計別決算状況

会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	31億3,786万1千円	30億3,317万	1億469万1千円
国民健康保険事業	6億5,497万6千円	6億2,303万1千円	3,194万5千円
公共下水道事業	4,960万4千円	4,785万9千円	174万5千円
くじらの博物館事業	5億7万3千円	3億5,288万7千円	1億4,718万6千円
介護保険事業	4億3,733万5千円	4億2,647万3千円	1,086万2千円
後期高齢者医療事業	1億1,375万6千円	1億1,012万9千円	362万7千円

企業会計	歳入	歳出	差引
水道事業	8,744万5千円	7,144万6千円	1,268万2千円

※企業会計の歳入歳出差し引き額の相違は消費税分です。

一般会計



《グラフの解説》

歳入を調達方法の面からみると、自主財源と依存財源の二つに分類されます。

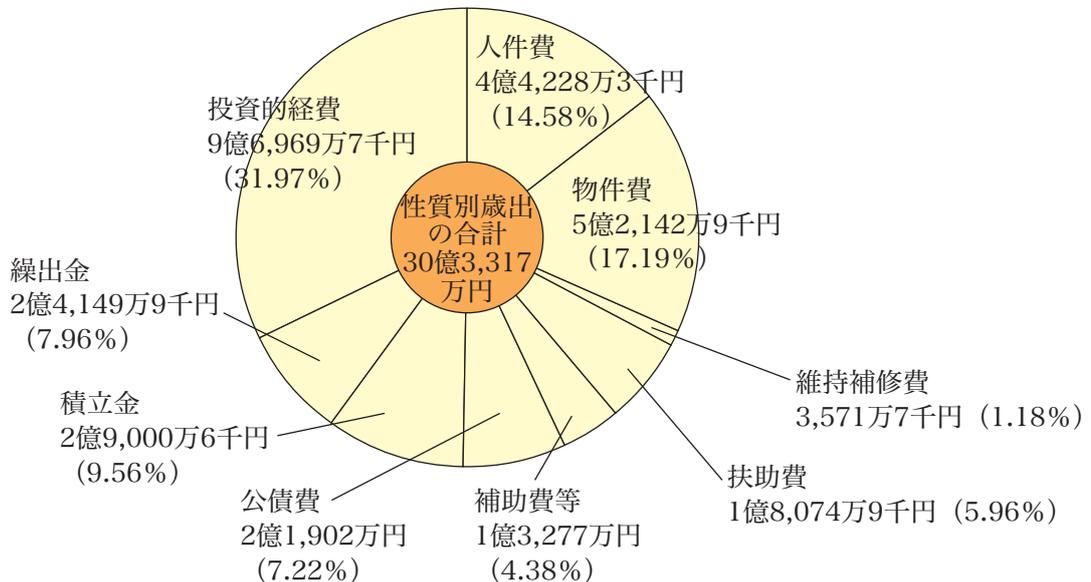
自主財源とは町が自ら徴収または収納できる財源で当町の場合、歳入の約25%を占めています。また、依存財源とは国や県から交付されるものや借入金などで、歳入の約75%を占めています。

その他(1)の内訳

分担金及び負担金	289万8千円(0.09%)
使用料及び手数料	1,662万8千円(0.53%)
財産収入	426万1千円(0.14%)
寄附金	1,919万7千円(0.61%)
諸収入	3,174万8千円(1.01%)

その他(2)の内訳

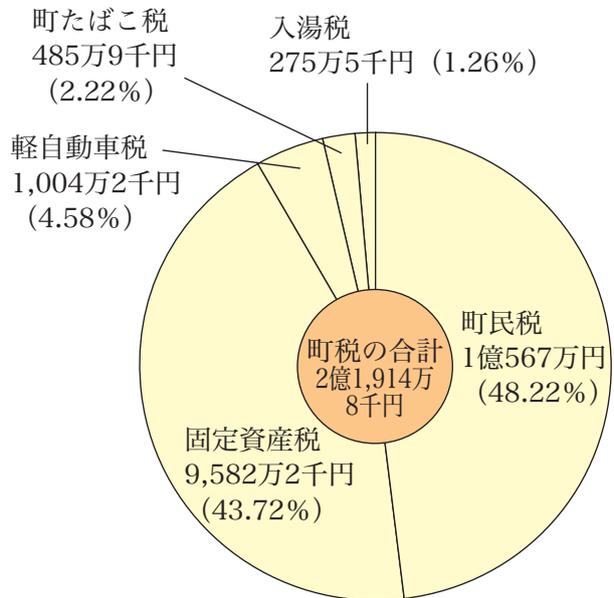
地方譲与税	1,020万4千円(0.33%)
利子割交付金	91万円(0.03%)
地方消費税交付金	4,818万8千円(1.54%)
自動車取得税交付金	317万2千円(0.10%)
地方特例交付金	86万2千円(0.03%)
配当割交付金	201万3千円(0.06%)
株式等譲渡所得割交付金	195万5千円(0.06%)



各項目の町税を住民基本台帳による人口で町民1人当りに換算すると、下記のようになります。

※住民基本台帳 人口 3,172人
(平成30年3月末現在)

町民税	33,313円
固定資産税	30,209円
軽自動車税	3,166円
町たばこ税	1,532円
入湯税	868円
合計	69,088円



平成29年度 主要施策の成果

総務関係

町営じゅんかんバス運行事業は、バス2台による運行体制を維持し、ダイヤ改正等を行い住民及び観光客の利便性の向上を図った。夏山地区についても、引き続きタクシー券交付事業を実施した。また、更なる防災力強化・充実、住民生活の向上を図るため、昨年度に引き続き、県補助金を活用し防犯カメラ10台を5地区5箇所を設置するとともに、きのくに木造住宅耐震化促進事業として耐震診断、家具類転倒防止対策支援事業として希望する世帯の家具類に転倒防止金具の取り付けなどを行った。その他、倒壊等の恐れのある空き家について解体撤去工事を実施した。

企画関係では、太地町の玄関口の森浦地区に食事の提供や地場製品の販売を行う道の駅たいじが完成し営業を開始した。同地区の森浦湾においては、鯨の海構想を推進するため湾内の各調査、基本設計及び実施設計を行うとともに、飼育鯨類用の調餌場の整備、更に昨年度に引き続き県補助金を活用し森浦湾へ鯨類観覧用生簀を増設整備した。また、国際交流の推進及び活性化のため、デンマーク領フェロー諸島クラクスヴィークと姉妹都市を締結、姉妹都市のオーストラリア・ブルームとは、従来実施している中学生の派遣交流事業に加えて、これまで受け入れたホストファミリーのブルーム訪問も10周年の記念事業として合わせて実施した。

旧グリーンピア南紀跡地の利活用については、施設の維持管理に努め、園地、施設等を一般に開放、グラウンド整備を行うとともに昨年度に引き続き太陽寮を警察官の宿舎として有効に活用した。

財政関係では、統一的な基準による地方公会計の整備促進に努め、財政の健全な運営に資するために財政調整基金、減債基金への積立を行った。また、税関係では家屋評価システム導入、空中写真撮影など効率化、厳正化を推進するとともに滞納圧縮のため、延滞金の徴収及び滞納処分を積極的に進め和歌山地方税回収機構を有効活用した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
町営じゅんかんバス運行事業	20,081	じゅんかんバス、フリー乗降制バス
夏山地区タクシー券交付事業	26	
家屋解体撤去事業	4,355	2軒(大東地区)
防犯カメラ設置事業	5,050	5地区5箇所10台
家具類転倒防止対策事業	81	14件
旧グリーンピア南紀維持管理関係	19,522	賃金他(軽トラック購入含む)
道の駅整備事業	233,852	設計監理、本工事(28年度支払分50,000千円含めず)、電気自動車充電設備、備品等
森浦湾整備事業(調査・設計)	32,985	調査(地質、流況、環境)、基本設計、実施設計

事業	金額	備考
本浦調餌場等整備事業	8,705	設計監理、工事費
鯨類観覧用生簀製作設置事業	3,470	生け簀1基
姉妹都市提携事業	7,449	フェロー諸島クラクスヴィーク旅費
本浦寄宿舍改修事業	3,878	設計、工事費
土地購入費	33,163	土地及び工作物補償
家屋評価システム導入事業	1,443	家屋評価システム
空中写真撮影事業	335	合同撮影
基金積立事業	290,000	財政調整基金、減債基金

民生関係

高齢者が地域で安心して暮らすことができるよう、地域ケア事業、配食サービス事業、介護予防事業等を実施した。また認知症高齢者が増大している近年、その対策として、認知症サポーター養成講座、認知症お話し会を積極的に実施し、認知症の予防、認知症の理解を深めた。

児童福祉関係では、児童が健全に育成することができるよう、医療費を18歳まで拡大し助成した。

障害福祉関係では、手話通訳奉仕員の養成に努めた。

旧熊野の宿棚については、町民の介護予防、健康づくり、生きがいづくりの拠点として、また高台への福祉避難場所にも活用できる施設として、施設の改修を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
社会福祉費	62,106	国民健康保険事業会計への繰出金
	5,017	地域ケア事業委託料
	3,033	旧棚施設事務所エアコン設置工事
老人福祉費	1,000	生活管理指導員派遣事業委託料（介護保険事業）
	917	理学療法士派遣事業
	2,906	配食サービス委託料（介護保険事業）
	279	介護用品給付事業費（介護保険事業）
	15,849	老人福祉施設入所措置費
	2,431	緊急通報業務委託料
	3,431	南紀園分担金
	1,139	老人クラブ助成金他
	69,589	介護保険事業会計への繰出金
	71,090	後期高齢者医療事業会計への繰出金
児童福祉費	29,263	振興費、児童手当
乳幼児医療対策費	8,002	乳幼児医療費、就学児医療費
ひとり親福祉費	2,895	医療費、ひとり親家庭高校生就学援助費他
障害者（児）福祉費	13,490	医療費、福祉手当他
	100,911	障害福祉サービス費等

衛生関係

住民が「健康でありたいと願い行動する町」を目指し、町民が健康づくり活動に参加できるよう、各種検診等の利用を促進している。疾病予防対策では、検診の制度管理の整備に努め、また感染症対策では、18歳までの子どものインフルエンザ予防接種費用の一部を助成し、感染症の拡大防止に努めた。今後も健康管理体制の充実に努めたい。また子育て支援では、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を行うため、子育て世代地域包括支援センターを設置した。

清掃関係では、清掃センターの適正な運営、維持管理を行い、施設の安全管理に努め、各設備の補修、補完を行った。また環境衛生施設の運営に要する経費の負担、浄化槽設置補助を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
保健衛生関係	16,686	予防費、母子対策費、健康増進費
	94,010	清掃センター運営費等
	3,984	浄化槽設置費補助金
	14,542	環境衛生施設一部事務組合負担金
	1,099	公衆便所管理費

労働関係

労働者福祉の促進を図るため、新宮東牟婁地域労働者福祉協議会に対し、助成事業を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
労働諸費	30	新宮東牟婁地域労働者福祉協議会助成金

農林水産業関係

農林業、漁業の振興活性化を図るため各団体への助成事業を行った。

鳥獣被害防止事業費として、有害鳥獣の捕獲事業を行った。

水産総務費としては、毎年行われている海水水質検査の委託と、大規模な津波の到来が予想される当地域における漁港防災対策として、太地漁港の外郭施設および係留施設の機能保全工事実施計画書の作成を行った。それに加えて、漁業の振興を図るため、漁港内施設の修繕および改修工事を実施した。

漁業振興費としては、毎年行われている稚魚放流事業として、平成25年度から行っているクエの放流事業を今年度も実施した。また、水産資源の増加並びに漁家収入の増大を図り、磯根漁場再生事業としてヒジキ場の造成、ナマコの種苗の放流と調査及びアワビ類種苗放流基質の設置と調査を行った。

捕鯨対策費としては、捕鯨存続運動を推進し、今年度においては、全国鯨フォーラム2017太地を開催した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
農業振興費	20	県土地改良事業団体連合会負担金
	45	水稻実行組合助成金
	45	果樹研究会助成金
花畑等整備事業費	952	与根子川河川敷植栽事業、沿道花壇の整備等
鳥獣被害防止事業費	827	鳥獣有害駆除報償費他
林業振興費	690	紀州材ベンチ修繕事業
	160	松くい虫被害木伐採委託料
ふれあいの森管理費	139	ふれあいの森管理費
水産総務費	470	太地漁港内ガードレール設置工事
	2,071	太地漁港三軒家船揚場滑り材修繕工事
	4,287	太地町衛生管理型荷捌施設側溝改修工事
	146	水質検査(海水)委託料
	972	太地漁港機能保全工事実施計画書作成業務委託料

(単位：千円)

事業	金額	備考
漁業振興費	499	クエ稚魚放流事業
	50	緑のボランティア助成金
	1,800	稚貝稚魚放流事業助成金
	325	磯根漁場再生事業助成金（ナマコ）
	293	磯根漁場再生事業助成金（藻場再生）
	500	磯根漁場再生事業助成金（アワビ）
捕鯨対策費	3,140	太地鯨フォーラム実行委員会助成金他

商工関係

商工では、南紀くろしお商工会への助成等により、商業の振興に努めるとともに、近年問題となっている消費者トラブルについては、その防止を図るべく啓発事業を行った。

観光では、各種キャンペーン等に参加し、DVDの上映やパンフレット等を用いた町のPR、地元産品の販売等を行うなど観光客誘客に努めた。また、昨年引き続き鯨浜海水浴場において「くじらに出会える海水浴場」と題し、鯨類ふれあい事業を行うとともに、夏山園地の整備を進めた。

(単位：千円)

事業	金額	備考
商工総務費	3,800	南紀くろしお商工会助成金
	340	公設市場負担金
	484	商工業活性化資金利子補給助成金
観光費	618	くじら浜海水浴場整備工事
	26,539	夏山園地整備事業（排水路整備工事等）
	3,853	海水浴場ふれあい事業費 鯨類借上料他
	5,674	吉野熊野国立公園熊野地域美化清掃協会分担金
	500	花火大会助成金
	268	教育旅行誘致活動費

土木関係

生活道路の安全・安心な交通を確保するため、トンネルの点検を実施。その結果を基に、長寿命化計画を作成し町道の計画的な維持管理を実施した。また、町道に接する法面において、過年度から落石があった箇所があり、落石防止網を設置し対策を講じた。さらに、町道の雨水排水対策として側溝の新設を実施した。また、寄子路地区において、見通しの悪い交差点があり寄付採納による用地確保ができたため、広場整備を兼ねて対策を実施した。

都市公園においては、設置年が不明であった遊具の取替えを行い、遊具の安全対策を実施した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
道路改良費	4,953	安ヶ平見線側溝新設工事
	7,805	寄子路地区広場整備工事
	3,300	寄子路地区広場整備に伴う家屋解体撤去工事
	1,221	常渡線（博物館前）歩道修繕工事
	7,791	桑原1号線落石防止網設置工事
	2,476	本浦燈明崎3号線舗装改修工事
	917	水尻地区排水施設設置工事
	3,240	太地町橋梁・トンネル長寿命化計画策定業務委託事業
公園費	498	燈明崎公園シーソー設置工事

消防関係

災害に強いまちづくりのためハザードマップの改訂、公民館の耐震耐波診断をするとともに、各避難路について点検し2箇所について整備工事を行った。また、消防団員が活動時に着用するライフジャケット及び衛星携帯電話の購入、防災行政無線の更新を見据えたデジタル化等の検討等施設の防災力強化に努めた。更なる防災力強化をはかるため、住民参加型の避難訓練やゲーム形式の避難所運営に係るワークショップの開催に加えて備蓄品についても購入した。

救急関係では、救急技術向上のため消防署主催のメディカルコントロール協議会に参加するとともに、新規隊員養成のため1名が専科教育救急科に入校し資格を取得した。また、住民に対して応急処置、AED 取扱い等の講習会を開催した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
常備消防費	229	専科教育救急科入校等費用
	168	スコープストレッチャー購入
非常備消防費	534	ライフジャケット購入事業 (130 着)
	172	消防車両用 LED 照明導入 (1 台)
災害対策費	562	避難路整備工事 (2 箇所)
	1,994	公民館耐震対波診断測定委託事業
	839	ハザードマップ改訂事業

教育関係

本町は「かしこくて、丈夫で、やさしい子どもの育成」をスローガンとし、町の文化、伝統を学ぶ取り組みの充実、人を思いやる優しい心の育成、確かな学力の定着を目的に、地域と学校と家庭が一体となって教育行政を推進した。

児童福祉費では、太地幼稚園・太地保育所を平見台園地に移転新築し、津波災害の心配の無い園舎を建設した。新設された「太地こども園」には、ランチルーム・屋内プールを配置し、より安全かつ快適な施設を整備した。

学校教育では、「確かな学力の定着」「豊かな人間性の育成」「地域に根ざした学校づくり」を基本方針としてきめ細やかな指導をおこなった。

教育委員会事業では、平成18年度より和歌山県子どもの安全対策事業として、通学路セーフティネットの日が設けられ、学校教員、安全ボランティアの協力により実施した。

小児生活習慣病予防対策事業は、児童・生徒と保護者の生活習慣病の実態を明らかにし、生活習慣病の影響を把握するとともに、今後健康的に大人に成長するために親子で検診を受ける予防事業を実施した。

社会教育では、あらゆる活動を生涯教育と位置付け、町民一人ひとりが生きがいのある日々を送れるよう計画し、取り組んだ。

青少年健全育成事業として、特に夏休み中に地域のボランティア、警察等の協力のもと夜間パトロールを実施し、指導をおこなった。

また、児童を対象とした「ユーユークラブ」は遊びを通じ、大人と子どもが地域の生活や自然とのふれあいが出来るよう努めた。

保健体育では、市町村対抗ジュニア駅伝競走、小学校との合同運動会、グランドゴルフなど各種事業を行い、各種団体活動への助成を行った。又、文化財関係では、敷地や環境保護の整備に努めた。

教育委員会工事について、小学校では廊下カーペット張替工事、職員トイレ改修工事を、中学校ではコンピュータ室エアコン設置工事を、公民館では雨漏れ対策工事及び事務室エアコン改修工事を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
児童福祉費	556,484	太地こども園建設費
教育総務費	609	小児生活習慣病予防対策事業費
	1,200	学校教育指導員報酬
	1,739	青少年センター分担金
	4,578	外国青年招致事業費
小学校費	595	校舎校具等維持修理費
	1,282	教室・教材費
	1,047	教材備品、図書、給食備品
	1,510	給食費補助金
	856	姉妹都市白馬村児童派遣費補助金
	607	就学援助費
	7,625	カーペット張替改修工事、職員トイレ改修工事
中学校費	814	校舎校具等維持修理費
	1,467	教室・教材費
	951	教材備品、一般備品、図書、給食備品
	404	生徒派遣費補助金
	1,146	給食費補助金
	2,119	コンピュータ室エアコン設置工事
	919	就学援助費
幼稚園費	291	園舎教具等修理費
	340	ままごとセット、カラーマット購入費
	487	給食費補助金
社会教育費	934	カレンダー印刷製本費
	89	いさな通学合宿事業費
公民館費	344	文化講演会講師謝金
	41	修繕費
	218	図書等購入費
	3,322	空調機取替工事（事務室）、雨漏れ対策工事
文化財保護費	2,700	太地町民芸保存会助成金（備品購入）
青少年健全育成費	1,050	青少年健全育成費
石垣記念館費	83	絵画展示会費
保健体育総務費	503	ジュニア駅伝参加費
	280	町駅伝大会費用
	493	スポーツ少年団活動助成金
	453	スポーツ振興児童生徒派遣費



9/20(木) **中** 学校火災避難訓練

太地中学校において、全校生徒で火災発生を想定した避難訓練を行いました。天気が雨だったため、運動場ではなく、体育館への避難となりましたが、皆さんスムーズに避難場所へと移動することが出来ました。

9/20(木) **い** つまでもお元気で

9月20日(木)時点で、町内在住の男性の最高齢は、98歳の東誠一郎(ひがしせい いちろう)さん、女性の最高齢は、99歳の寺西ともゑ(てらにしともゑ)さんでした。ご長寿お祝い申し上げます。いつまでもお元気で過ごしてください。



9/21(金) **交** 通安全啓発

9月21日(金)～30日(日)までの秋の全国交通安全運動期間に際し、太地町では21日(金)に小畑石油店付近の交差点で街頭啓発を行いました。新宮警察署、交通安全協会の協力のもと、ドライバーの皆さんに安全運転を呼びかけ、啓発物資を配布しました。

平成 30 年度 太地町盆供養花火大会収支決算書

平成 30 年度盆供養花火大会が 8 月 14 日に開催されました。町民各位のご高配とご支援により、無事挙行できましたことを謹んで御礼申し上げます。

遅くなりましたが、次のとおり収支決算についてご報告させていただきます。

今後とも、よろしくご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

収入の部

科 目	金 額	摘 要
1. 寄附金及び補助金	5,392,000 円	特別協賛 3,541,000 円
		町内一般協賛 1,151,000 円
		町助成金 500,000 円
		追善供養 200,000 円
2. 繰越金	351,731 円	前年度繰越金
3. 利息	5 円	預金利息
合 計	5,743,736 円	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
1. 事業費	4,790,000 円	花火代金 紀州煙火 和田煙火
2. 賃金	239,400 円	海上警備・臨時バス運転 雑踏警備・ユニックオペレーター
3. 需用費	109,404 円	消耗品費・食糧費 プログラム印刷費
4. 役務費	99,352 円	口座振替取扱手数料・郵便料 傷害保険料・クリーニング代・印紙代
5. 委託費	41,040 円	音響設置委託
6. 賃借料	37,260 円	ユニックレンタル料
合 計	5,316,456 円	

収入支出差引金額（翌年度繰越金）427,280 円

太地町花火大会実行委員会

委員長 藤 木 一 史

議 会 報 告

平成 30 年第 3 回太地町議会定例会

平成 30 年第 3 回太地町議会定例会が、9 月 26 日に開会しました。

今定例会には町長から、人事案件 2 件、報告 2 件、条例の一部改正 2 件、補正予算 5 件、決算認定 7 件、契約 3 件、その他 2 件が提出され、審議されました。

また、紀南環境衛生施設事務組合議会議員の選挙が行われ選任されました。

議員から意見書 1 件が提出されました。

一般質問では、3 名の議員から質問が行われ、町政一般について町の考えを問われました。

紀南環境衛生施設事務組合議会議員

※議員 山本 真一郎

※議員 塩崎 伸一

太地町固定資産評価審査委員会委員の選任

※岡本 宗明氏

※森本 和成氏

報 告

※健全化判断比率の報告

※公営企業会計に係る資金不足比率の報告

条例の一部改正

※選挙管理委員会及び議会等の要求により出頭した者等に対する実費弁償条例の一部を改正する条例 【可決】

※太地町税条例等の一部を改正する条例 【可決】

補正予算

※平成 30 年度太地町一般会計補正予算（第 2 号） 【可決】

※平成 30 年度特別会計太地町国民健康保険事業補正予算（第 2 号） 【可決】

※平成 30 年度特別会計太地町介護保険事業補正予算（第 1 号） 【可決】

※平成 30 年度特別会計太地町後期高齢者医療事業補正予算（第 1 号） 【可決】

※平成 30 年度企業会計太地町水道事業会計補正予算（第 1 号） 【可決】

決算の認定

※平成 29 年度太地町一般会計歳入歳出決算 【賛成多数で認定】

※平成 29 年度特別会計太地町国民健康保険事業歳入歳出決算 【認定】

※平成 29 年度特別会計太地町介護保険事業歳入歳出決算 【認定】

※平成 29 年度特別会計太地町後期高齢者医療事業歳入歳出決算 【認定】

※平成 29 年度特別会計太地町都市計画公共下水道事業歳入歳出決算 【認定】

※平成 29 年度特別会計太地町くじらの博物館事業歳入歳出決算 【賛成多数で認定】

※平成 29 年度企業会計太地町水道事業会計決算 【認定】

契約

※旧榑施設改修（建築）工事請負契約 【賛成多数で可決】

※旧榑施設改修（機械）工事請負契約 【賛成多数で可決】

※旧榑施設改修（電気）工事請負契約 【賛成多数で可決】

その他

※太地町衛生管理荷捌施設の指定管理者の指定 【可決】

※財産の処分 【賛成多数で可決】

意見書

※精神障害者の交通運賃割引に関する意見書（案）

議員派遣の件

一般質問

※漁野尚登議員

1. 国民健康保険について

①国保への加入について

②国保の制度について

2. 太地町の防災について

①高台避難について

3. 太地町の構想について

①森浦湾鯨の海構想について

4. くじらの博物館について

①くじらの博物館の運営について

※森岡茂夫議員

1. 地域防災計画と事前復興計画について

①災害対策本部について

②避難所について

③防災ボランティアの受入れ態勢について

④応急仮設住宅について

⑤和歌山復興計画事前策定について

⑥担当部署について

2. 避難路の確保について

①ブロック塀の点検について

②ブロック塀撤去の助成金制度について

③避難路の点検について

※花村計議員

1. 住民への情報発信について

①防災行政無線について

②回覧板について

③ホームページやメール配信について

2. 町債について

①借入額の増減について

②返済額の増減について

3. IWC 国際捕鯨委員会について

①第 67 回総会の結果について

②今後の見通しについて

和歌山県と県内すべての市町村からの重要なお知らせです



11月・12月は、マイナンバーカード 取得促進の取組月間です！

暮らしの便利がギュッと詰まったマイナンバーカードを安心してご利用いただくため、**県と県内全30市町村では、11月・12月をマイナンバーカード取得促進の取組月間**として、各種イベントや年末調整事前説明会等の様々な機会を捉えて積極的に取組を行います。

実施期間

11月1日（木）～12月28日（金）

取組内容

- ① マイナンバー制度おはなし講座の実施（安全対策の周知）※1
- ② マイナンバーカード申請代行※2
- ③ マイナンバーカード申請出張受付合同開催（予定）※3

※1 詳しくは、各市町村課行政班までお問い合わせください。（073-441-2192）
 ※2 市町村役場窓口において、マイナンバーカードの申請代行（補助）を行います。
 ※3 開催予定等については、決定次第、各市町村課のHPにてお知らせします。

マイナンバーカードの利用シーン

マイナンバーの提示と
本人確認がこれ一枚で完結！

マイナンバーカード
初回交付「無料」！



コンビニでの住民票などの
証明書の取得が可能に！

和歌山市、海南市、橋本市
で実施中！
※田辺市、紀の川市、白浜町実施予定



図書館の貸出利用券として
マイナンバーカードを利用！

和歌山県立図書館と
和歌山市立図書館で実施中！
※随時、拡大予定



お知らせ

11月・12月は「合同滞納整理強化月間」です

税は、まちづくりを支える大切な財源です。太地町では、納期内に納付された方との公平を保ち、滞納の解消を図るために、県、和歌山地方税回収機構と合同で、11月・12月を合同滞納整理強化月間として、税収確保に取り組みます。

税金を滞納すると本来納めるべき税金の他に延滞金を納付しなければなりません。滞納したまま放置すると、法律に基づき滞納者の意思に関わりなく、給与や不動産など財産の差押えや公売などの滞納処分を受けることになりますので、納期内に納税してください。

★時間外の納税相談

昼間仕事の都合等で役場に来られない方は、事前に担当課まで電話連絡をください。

夜間でも随時、職員が納税相談に応じます。 太地町役場 税務係 0735-59-2335

お知らせ

税金滞納により差押えた家電・雑貨などを公売します

1 日時 平成30年12月1日(土) 2 場所 紀の川市民体育館(紀の川市花野604番地2)

詳細は、和歌山地方税回収機構のホームページをご覧ください。

和歌山地方税回収機構 TEL 073-422-3630

太地町役場 税務係 0735-59-2335

お知らせ

「チェックしなくちゃ。最低賃金」

和歌山県最低賃金 時間額 803円 効力発生日 平成30年10月1日

詳しいことは、和歌山労働局労働基準部賃金室(TEL. 073-488-1152)

又は最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

お知らせ

太地町選挙管理委員会からのお知らせ

和歌山県知事選挙が下記日程のとおり執行されることとなりましたのでお知らせいたします。

記

告示日 平成30年11月8日(木) 投票日 平成30年11月25日(日)

期日前投票 平成30年11月9日(金)～平成30年11月24日(土)

お知らせ

紀勢本線の利用促進について

電車は、子どもから高齢の方まで誰もが利用しやすく、特に車を運転しない人にとっては、なくてはならない大切な交通手段です。

近年、道路交通網の進展により、電車の利用、特に私たちの生活基盤である紀勢本線の利用者数は年々減少しています。生活基盤であることはもとより、地域振興や産業振興にとっても欠かせない紀勢本線を地域で支えることも必要です。

このため、紀勢本線活性化促進協議会加盟の市町村では、様々な取組を行っていますが、町民の皆様におかれましても、地域の鉄道を守るためにも、旅行などでお出かけの際には、◇渋滞なしで時間に正確 ◇安全性が高い ◇地球環境への影響が少ない といった利点の多い電車を、ぜひご利用ください。

お知らせ

オレオレ詐欺・還付金詐欺・架空請求詐欺が多発

1 オレオレ詐欺

- (1) 日頃から親子の連絡を緊密にとること
- (2) 「風邪をひいて声がでない」、「電話番号が変わった」等の文言がある場合、連絡先等について身内などに再連絡すること。
- (3) 「示談金等があるのでお金を振り込んでほしい」「東京など首都圏まで現金を持ってきてほしい」等と言ってきた場合は要注意

2 還付金詐欺

- (1) 医療費の還付があるのでATMに行って還付の手続きをしてほしい
- (2) お金を口座に振り込め
- (3) お金をレターパックや宅配便で送れ
- (4) お金やキャッシュカードを自宅まで取りに行く

このようなことは決して言うことはないので注意してください。

3 架空請求詐欺

メールや葉書で「サイトの契約料及び利用料金を支払え支払わなかったら裁判を起す」と言った連絡がきたら、記載している電話番号に絶対に電話をしないこと。

これらは全て詐欺です！

不審に思ったらすぐに電話！！！！

新宮警察署 0735-21-0110

お知らせ

警察署からのお知らせ

11月25日～12月1日は犯罪被害者週間です。

犯罪被害にあわれた方やご家族は、直接の被害に加え、その後も精神的・社会的・経済的に深刻な被害を受けることが多く、再び平穏な生活を取り戻すためには、周囲の理解と配慮に基づく協力が重要です。

【お問い合わせ先】和歌山県警察本部警察相談課 代表 073-423-0110
新宮警察署 0735-21-0110

お知らせ

ジオパークについて

ジオパークとは、地域の歴史や文化、動植物、食などを通じて大地と人の暮らしの関わりを楽しむことのできる場所です。南紀熊野ジオパークは、新宮市・那智勝浦町・太地町を含んだ県内9市町村および、奈良県十津川村の一部にまたがっており、プレートの沈み込みに伴って生み出された3種類の大地を同じエリアで見ることができる日本でも大変貴重な場所です。

各地域では、ジオパークガイドや地元の事業者、行政担当者等で協力し、ジオパークの普及や見所となるジオサイトの保全、観光や教育への活用を通じて、地域が盛り上がるよう活動しております。

そこで今回、より多くの方に南紀熊野ジオパークを知っていただこうと、勉強会を開催いたします。講師に、昨年度放映のNHKスペシャル「列島誕生 ジオ・ジャパン」に出演された三浦大助氏をお招きし、ジオ・ジャパンを見ながら南紀熊野ジオパークについて詳しく解説いただきます。

詳細は下記のとおりです。

【日時】12月12日(水)19時～20時(予定)

【場所】那智勝浦町2階 大会議室(東牟婁郡那智勝浦町大字築地7丁目1-1)

【講師】三浦大助氏(大阪府立大学 理学系研究科 教授)

【定員】40名程度(先着順)

【参加費】無料

【申込期間】11月16日(金)

【申込方法】電話にてお申し込みください。

【申込先】県自然環境室 担当：新井 (TEL: 073-441-2690)



住民福祉課だより

太地町一般不妊治療助成事業について

太地町では、不妊に悩むご夫婦に対して、不妊治療にかかる費用の一部を助成しています。

◆対象となる方

不妊に悩むご夫婦のうち、下記の条件をすべて満たす方。

- 法律上の婚姻をしている夫婦で、夫又は妻のどちらかが和歌山県内に1年以上住民登録していること
- 各種医療保険に加入されている方
- 夫婦の前年所得の合計が730万未満であること

◆助成内容

〔助成額〕 1年度あたり3万円を上限とする。

〔助成期間〕 連続する2ヵ年

◆助成対象治療

- ・医療保険各法に規定する療養の給付が適用となる不妊治療（例：タイミング療法・薬物療法など）
- ・医療保険適用外の不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精を除く治療（例：人工授精など）
- ・治療の一環として行われる検査、及び治療開始前に不妊原因を調べる為の検査
- ・医療保険適用の有無に関わらず、不育症治療及び検査

◆申請時期：治療を受けた日の属する年度内に申請

太地町特定不妊治療助成事業について

太地町では、平成29年4月1日以降に治療を終了し、和歌山県特定不妊治療費助成事業による助成金の交付を受けた方を対象に、1回に5万円を上限にその治療費を助成します。

◆対象となる方

- (1) 法律上の婚姻をしている夫婦であって、申請日において太地町の住民基本台帳に記録されていること。
- (2) 和歌山県特定不妊治療費助成事業による助成金の交付決定を受けていること。

◆助成内容

和歌山県特定不妊治療費助成事業が定める1回の治療に要する費用から、和歌山県の助成額を差し引いた額（5万円を上限とする）を助成します。

◆助成回数は、初めて助成制度を申請する(申請した)際の治療開始日の妻の年齢によりことなります。

- ・妻の年齢が40歳未満であるときは、43歳になるまでに6回まで
 - ・妻の年齢が40歳以上、43歳未満であるときは43歳になるまでに3回まで
- ※年齢は助成制度における治療開始日の年齢です。

◆提出書類

- (1) 太地町特定不妊治療費助成事業申請書
- (2) 和歌山県特定不妊治療費助成事業受診等証明書の写し
- (3) 和歌山県特定不妊治療費助成事業助成金交付決定通知書の写し
- (4) 戸籍上の夫婦であることを証明する書類（戸籍謄本及び附票）の写し
- (5) 夫婦の住所を確認出来る書類（住民票）の写し
- (6) 医療機関が発行する特定不妊治療に要した費用に係る領収書の写し

◆提出先

新宮保健所

健診はお済みになりましたか？

日 程	場 所	内 容
11月7日（水）	多目的センター	特定健診・前立腺がん検診・肝炎ウイルス検診・胃がん・大腸がん・肺がん検診 ※午前のみ実施

★受診料・対象者などその他詳細につきましては、「健（検）診申し込み書」と4月に配布しました「平成30年度太地町のみなさまへ 年に1回は健（検）診を受けましょう！」をご確認ください。

★「肺がん検診」の事前申し込みは必要ありません。受診を希望される方は、上記の検診実施日にお越しください。

特定健診・肝炎ウイルス検診・胃がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん検診は平成31年1月まで下記の実施医療機関でも受けられます。受診券が必要になりますので、事前に下記までお申し込みください。

協力医療機関	特定、肝炎、 胃、前立腺	子宮	乳	連絡先
坂野医院	○			0735-59-2063
新宮市立医療センター		○	○	0735-31-3333
いずみウイメンズ クリニック		○		0735-21-0311
産婦人科矢島医院		○		0735-22-2337
紀南病院（三重県）			○	0597-92-1333
けんゆうクリニック （串本町）			○	0735-62-5080
紀南病院（田辺市）		○	○	0739-22-5215
南和歌山医療センター （田辺市）		○	○	0739-26-7050

★健診のお申し込み先：太地町役場 住民福祉課 TEL 59-2335



写真:ニューベッドフォード捕鯨博物館提供

太地の銚の多様性

Varieties of Taiji Harpoons

写真は、あるアメリカの鯨捕りが描いた捕鯨道具の数々である。銚は左端に一種類しか描かれていない。その銚は「返し」が二つあるTwo Flue(トゥー・フルー)などと呼ばれるタイプである。その他はクジラにとどめを刺すランス(槍)、クジラの脂肪層を剥がしたり、腱や骨を断ち切ったりするためのスペード、脂肪層を切り裂くためのボーディング・ナイフ、そして刻んだ脂肪を大釜で煮るときに使う手鉤やフォークなどである。

トゥー・フルーと、返し一つだけのワン・フルーなど、アメリカ捕鯨の現場に普及していたのはシンプルな形状の銚であった。アメリカ捕鯨が最盛期を迎えていた1848年にニューベッドフォードの鍛冶ルイス・テンプルが回転銚を開発するとすぐに、前述の二つのタイプの銚に加えて、テンプル回転銚の改良版が人気を博した。実際にはこれら以外にも様々な銚が作られ試されたことが分かっているが、それらが普及することはなかった。

日本でも、生月島(長崎県平戸市)など西海の捕鯨漁場では銚の種類は少なく、早銚と萬銚の二種類だけであったという。一方、太地では、早銚、指添銚、下屋銚、角銚、中銚、柱銚、萬銚、鼻銚、手形銚、錨銚など多様な銚があったと考えられている。なぜ銚の種類

がアメリカや生月島では少なく太地では多かったのか。生月町博物館の中園成生学芸員による考察が参考になる。

西海ではクジラを決められた網代に追い込むようにしていたので、双海船と呼ばれる、熊野の網船より大きな船を使って大きな網を張ることができた。大きな網を被って動きが鈍くなったクジラには比較的少ない数の萬銚を打って船を曳かせるだけで事足りたのかも知れない。一方、熊野漁場では、沖合で泳ぐクジラの周囲に網を張り巡らせた。迅速に船を動かす必要性から、網船も網も西海のものに比べて小ぶりだった。動きがそれほど鈍っていないクジラに対しては、多数の銚を打ち込まなければならなかったのだろう。また熊野では、セミクジラ、コククジラ、マッコウクジラを銚だけで突き捕ることも多かった。網を被っていないクジラを仕留めるためには、やはりたくさん

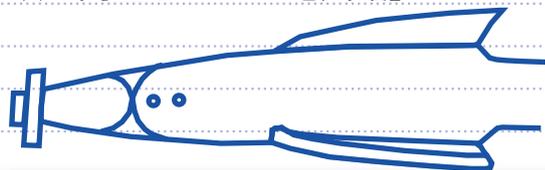
の銚が必要だったのだろう。さて漁法の違いから使う銚の数が異なることは分かったとしても、熊野ではなぜ十種を超えるほどに銚は多様であったのか。あるいは、熊野から捕鯨が伝わった西海では、なぜ二種類にまで銚の種類は減ってしまったのか。(つづく)



「平頭鉆」②

平田森三博士は、昭和二十四年(1949年)、釧路港にて、捕鯨会社とともに電気鉆の実地試験に取り組んでいましたが、平頭鉆の実験も行うこととなりました。当時の捕鯨の現場では、モリを鯨体につきささりやすくするため、モリの先端に常に気を付けて、とがらせているという状況でした。そのため博士は、捕鯨関係者に平頭鉆の効力を周知するため、簡易な平頭鉆を作成し、実際に水面に打ち込む実験を行ったのです。その際に作成した平頭鉆は、先端を切り取り、空洞に木を埋め込んで前面を平らにした簡易なものでした。実験は、船の砲台から二十五間(約45.4m)、三十間(約54m)、三十五間(約63m)ミカン箱を浮かべて、距離の目印としました。船からモリを打ち込む射撃線の両側に、平田博士はじめ研究者などがボートに分譲し、観測しました。「まず最初は普通のガラナット(尖頭)をつけて射った。わかりきったことではあったが、真横から眺めていると、こんなにも高くとびあがるものかと、いまさらながら驚きを新たにしたわけである。次に九十三ミリの平頭にしたものを射つと、白い泡を引きながら水中を進み、約七間(約12.7m)行ったところでちょっと頭を出しただけで、またふたたび水面下を進んだ。七十三ミリのものでは、二間(約3.6m)くらい水中を潜ったあとで水上に飛び出したが、その高さは一間(約1.8m)くらいである。トップから見ていると、九十三ミリのものは水中でも左右にふれないうでまっすぐに進むという。」(「麒麟のまだら」p.117より抜粋、()内は筆者加筆)こういった射撃を何度も行いましたが、その結果が下の図に示してあります。②、④、⑤では同じ大きさの平頭鉆を使用していますが、

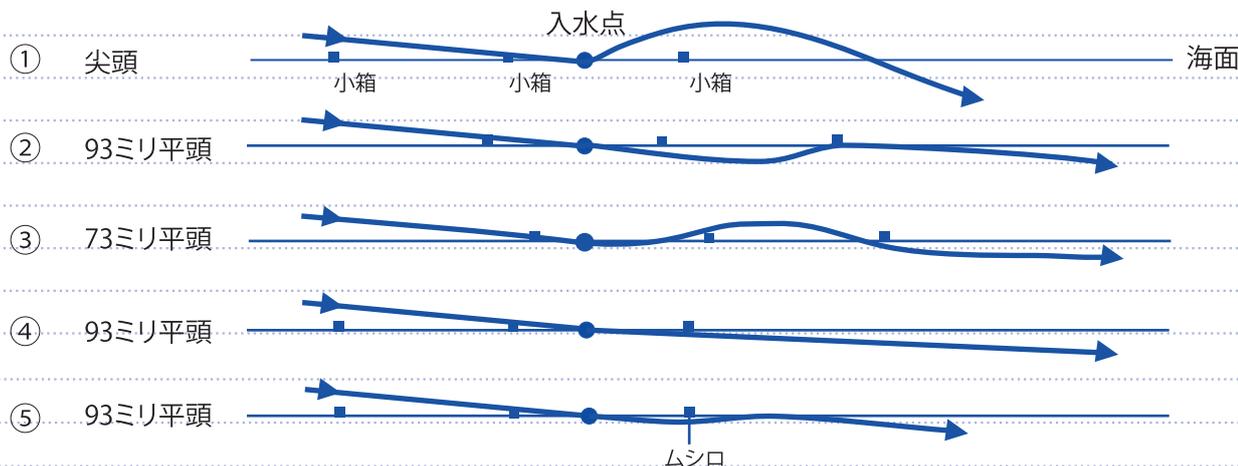
【平頭の円盤をつけた電気鉆】



この実験の結果を受けて、平頭を取り入れた電気鉆を試作することとなり、釧路の旭鉄工所で作成された。

目印となるミカンの小箱と入水点の位置関係を見ると、④では、船から水面に打ち込む距離も変化させて実験を行ったのでしょうか。93ミリ平頭が、最も水面での反跳が少ないことがわかります。⑤で「ムシロ」とあるのは、モリがどのような深さを進むのかを調べるため、ムシロを吊り下げて、貫通した穴を調べたものです。このように、鉆の先端部分という、たった1部分ではありますが、その改良には、多くの人の熱意や創意工夫が必要とされました。

水面に打ち込まれたモリの進路



《保健衛生関係 11 月行事予定》

子育て支援関係

月 日	事業名	時 間	場 所
11月7日(水)	ちびっ子ひろば	10:00～11:30	ふれあいルーム
11月21日(水)	ちびっ子ひろば	10:00～11:30	ふれあいルーム

健康相談

月 日	事業名	時 間	場 所
11月15日(木)	成人健康相談(血压測定)	10:30～11:30	公 民 館
		13:00～13:30	平見集会所
		13:45～14:15	老人憩の家
		14:30～15:00	寄水集会所
11月26日(月)	成人健康相談(血压測定)	15:00～15:30	森浦集会所
11月27日(火)	乳幼児健康相談	10:00～11:30	ふれあいルーム

健康教育

月 日	事業名	時 間	場 所
11月5日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	東新集会所
11月19日(月)			
11月12日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	森浦集会所
11月26日(月)			

健診

月 日	事業名	時 間	場 所
11月7日(水)	特定・胃・大腸がん・胸部健診	8:00～9:30(受付)	多目的センター
11月22日(木)	4か月、10か月児健診	8:50～9:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター



白馬からのお便り
姉妹都市「白馬村」コーナー

しろつま保育園運動会!!

9月28日(金曜日)しろつま保育園で運動会が行われました。
天候が心配される中、当日は抜けるような秋空の下で運動会を開催することができました。跳び箱に逆上がり、平均台と元氣いっぱいゴールを目指して走ったり、一生懸命に綱を引いたり、練習してきたダンスを披露したりしていました。

住民基本台帳
(平成30年9月末日現在)
総人口 3,134人
男 1,414人
女 1,720人
世帯数 1,606世帯
(前月比: 総人口 5人減
世帯数 3世帯減)

11月4日(日)
太地浦くじら祭
会場 太地漁協ふれあい広場